



2024年6月19日

各 位

会社名 三菱製鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山口 淳
(コード番号 5632 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経理部長 柳沼 康一
(TEL. 03-3536-3135)

ドイツ子会社の倒産手続き開始の申し立てに関するお知らせ

本日、当社取締役会において、ドイツ子会社であるMSSC Ahle GmbH(以下、Ahle社)に対して追加の財務支援を行わないことを決議いたしました。

これにより、Ahle社は現地の法律に基づき、倒産手続き開始の申し立てを行うこととなる見込みです。

またこれに伴い、当社の同社に対する債権について、下記の通り回収不能となるおそれが生じたので、お知らせいたします。

記

1. 申し立ての理由

当社は、ばね事業の主要取引先である自動車メーカーのグローバル調達方針に 대응し、現地においてサスペンション用ばね(巻ばね・スタビライザ)の生産・供給を行うことを目的に、2018年にドイツの商用車ブレーキ用ばね製造会社を買収し、欧州へ進出いたしました。

当初は新たにサスペンション用ばねの生産設備を導入し、欧州地域において生産・供給することを想定していましたが、自動車メーカーのグローバル調達方針見直しに伴い、生産設備導入は見送らざるを得ませんでした。さらに欧州経済低迷によるAhle社従来製品である商用車ブレーキ用ばねの受注低迷に加え、エネルギー価格をはじめとするコスト高騰等もあり、損失計上が続いていました。これに対し売価改善を進めるなど再建努力を行ってまいりましたが、将来の損失解消の目途が立たないまま債務超過となったことから、同社に対して追加の財務支援を行わないこととしました。これにより同社は倒産申請する見込みです。

今回の同社からの撤退により、中期経営計画における事業ポートフォリオの最適化を進めることで、戦略事業に対する経営資源の投入に一段と注力し、当社グループの中長期的な利益成長を実現してまいります。

なお、本件により、当社は欧州拠点を失うこととなりますが、当社は日本国内に加え、北米・アジア地域にも自動車向けサスペンション用ばねの生産拠点を有しており、今後も他拠点からの納入等により、欧州地域のお客様の需要についても応えてまいりたいと考えております。また、同社が現在生産している商用車ブレーキ用ばねは、当社グループ内では同社のみが製造・販売していることから、当社グループの他拠点への影響は無いものと考えています。

2. 負債総額

33百万ユーロ

3. 当該子会社の概要

(1)	名称	MSSC Ahle GmbH
(2)	所在地	ドイツ ノルトライン＝ヴェストファーレン州 リンドラー市
(3)	代表者の役職・氏名	Managing Director, Götz-Peter Ander
(4)	事業内容	商用車ブレーキ用ばねの設計、製造及び販売
(5)	資本金	25,000ユーロ
(6)	設立年月日	1904年(2018年4月、買収により事業取得)
(7)	大株主及び持株比率	三菱製鋼株式会社 100%
(8)	当社との関係	
	資本関係	当社は同社の議決権の100%を所有しています
	人的関係	当社の取締役2名及び執行役員2名が、同社のAdvisory Boardのメンバーを兼務しております。
	取引関係	—

	債権債務関係	貸付金(27百万ユーロ)及び債務保証等 (2024年3月期個別決算において約29億円の貸倒引当金を計上しています。)		
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します。		
(9)	最近3年間の財政状態及び経営成績	(単位:百万ユーロ)		
		2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
	純資産	7	1	△ 1
	総資産	29	33	32
	売上高	19	24	28
	親会社株主に帰属する当期純利益	△ 1	△ 6	△ 2

4. 当該子会社の出資金の評価額及び債権の種類・金額

当社は、Ahle社出資金の評価損を計上しており、現在同社の出資金評価額は1円です。

また、同社に対する債権の種類及び金額については、「3. 当該子会社の概要 (8) 当社との関係 債権債務関係」に記載の通りです。なお当該債権の連結純資産に対する割合は9.30%です。

5. 今後の見通し

- ・ 今後Ahle社において、当社の決議に基づき、ドイツ倒産法に則って現地の裁判所に倒産申し立てを行う見込みです。
- ・ 時期は未定ですが、手続きの進捗に伴い、同社は当社の連結子会社から除外される見込みです。
- ・ 今後も、現地の裁判所によって選任される仮管財人の下で数ヵ月間は事業が継続され、販売先や調達先とはその間に今後の対応等について協議される見込みです。
- ・ 当該申し立て時における同社の買掛金については、倒産手続きの過程で支払いが行われる見込みです。

6. 当社業績への影響

当社業績に与える影響は現在精査中ですが、当社が同社に対して保有する債権の回収不能等により、損失が発生する可能性があります。

具体的な金額及び影響を与える時期につきましては、判明し次第速やかに開示いたします。

以 上